

「道路にある植栽のあり方について」に関するパブリックコメントの
募集結果について

平成23年6月17日
四国地方整備局
道路管理課

四国地方整備局では、平成23年2月23日から3月24日まで、「道路にある植栽のあり方について」に関するパブリックコメントを実施し、広く国民の皆様からのご意見を募集いたしましたところ、15名の方からご意見が寄せられました。

お寄せ頂いたご意見の概要とそれに対する四国地方整備局の考え方をまとめましたので、公表いたします。

今回の募集にあたり、ご協力いただきました方々へ厚くお礼申し上げるとともに、今後とも国土交通行政の推進にご協力いただきますようお願い申し上げます。

「道路にある植栽のあり方について」に関するご意見に対する四国地方整備局の考え方

分野	意見の要旨	意見に対する考え方
<p>【方策1】 苦情や管理コストの小さい樹種への植え替え又は撤去</p>	健全度のある樹木は、強く刈り込む剪定を行う工夫も必要。	<p>ご意見有り難うございます。 剪定手法や植え替えとなった場合の樹種等、更なる工夫に取り組みたいと考えています。</p>
	植え替える樹木は中低木の常緑樹を選定すべき。	
	植樹の周辺の雑草対策として土砂から碎石にして行くべき。	
	害虫は嫌いで困りますが、むやみに農薬をまかないでほしい。落ち葉は季節を感じるころをそだてるためにも大切なものです。赤や黄色い葉っぱで子供たちも喜んでいる。	<p>ご意見有り難うございます。 これまででも年々減少する予算のなか、様々な工夫を実施しながら道路植栽の維持管理を実施しておりますが、沿道住民の方に迷惑が及ぶ事態も生じております。道路管理者として沿線住民への被害を軽減する一つの方策として皆様のご意見を伺った次第であり、実施にあたっては地域住民のご意見を伺いながら対応を判断したいと考えています。</p>
	苦情があったから植え替えや撤去という短絡的な判断は好ましくない。	
	落ち葉とかは秋を感じさせてくれるし、新緑は春を感じさせてくれる大切なものだと思う。虫は嫌いですが一時期の問題なので、緑は好きなのでできるだけ残して欲しい。	
	長い年月を経て根付いている樹木でもあり、また、樹種の選定にあたっては緑化委員会など地域の意見を聞いて植樹している所もあるため慎重に結論を出してもらいたい。	
	清掃が必要な時期にボランティア活動日を設定するなど地域の協力をお願いしてはどうか。	<p>ご意見有り難うございます。 四国地方整備局管内では、ボランティアで清掃等を実施して下さっている団体等も多数おられますが、清掃や害虫駆除の要望が多く寄せられる市街地部におけるボランティア数はあまり多くないのが実状です。 今後も、地域の協力をお願いしながら対策の選択肢として考慮しつつ、地域住民のご意見を伺いながら対応を判断したいと考えています。</p>
	“緑を守るボランティア隊”(仮称)といった地元の社会奉仕組織を作ってもらい、落ち葉清掃等の軽作業を任せることも出来るのではないか。	
	害虫や落ち葉とかで不満に思っている人もいるかもしれませんが、最小限の薬をまいたり、清掃を住民を交えてやれば良いし、やはり木や緑は、環境を良くしたり癒しの効果もあると思うので少なくして欲しくない。	
地区で一体となって、地域の落ち葉拾いや清掃を行っている。木は地区にとっても私個人にとっても大事な財産だと考えている。落ち葉が舞ってきたり、害虫が発生したりと影響も確かにありますが、それ以上に、憩いの場であったり周りの環境を良くしたりプラスになる事が多いと思う。		
落葉の掃除は行政と共に各地域のコミュニティー団体(老人会や子供会等)と協力体制をとってはどうか。		
通常の簡単な落ち葉対策は、ボランティアなどの組織作りも必要。枝の剪定は、専門技術者が木の特性や近隣の状況も判断し管理して統一的に整えていくことが大切。		
地域の緑として住民と一緒に清掃をするなどの活動が考えられる。		

「道路にある植栽のあり方について」に関するご意見に対する四国地方整備局の考え方

分野	意見の要旨	意見に対する考え方
	<p>落ち葉や害虫などは、専門家の方等に意見を聞いたり、判断してもらいながら、適切な時期（害虫発生前、落ち葉前等）に対処すれば苦情は減らせるのではないかと。</p> <p>害虫は樹木が弱るとつきやすくなると言われています。害虫が発生する前に木の勢いや卵の有無を点検して除去することで害虫を未然に防ぐことが出来る。</p>	<p>ご意見有り難うございます。 害虫の発生は予測が難しい場合もあり、全国でも対応に苦慮している状況です。これまで他地域での事例も参考にしつつ様々な対策を行ってききましたが、沿道住民の方に迷惑が及ぶ事態も生じていることやコストの観点から、現作業の見直しを含めて地域住民のご意見を伺いながら対応を判断したいと考えています。</p>
<p>【方策2】 中央分離帯植栽と同様の機能をもつ構造物に変更</p>	<p>広幅員の中央分離帯箇所については考え方を考慮していただきたい。</p> <p>中央分離帯の木は夜、車で走っていると対向車のライトを防いでくれるので、安全だと思う。</p> <p>遮光の意味や、排ガス等の環境対策の面で大切な場所だと思う。</p> <p>ウォーキングしていると中央分離帯で対向車の光がさえぎられてまぶしくなく、良いと思う。</p> <p>中央分離帯の植栽は、横断の防止だけでなく対向車のライトがまぶしくないようにする効果もある。雑草や刈り込みの管理が大きな負担となる場合には、フェンスなどの構造物に関する性の植物を絡ませるなどの方法も効果的だと思う。</p> <p>夜の運転をしていると中央分離帯の植栽で対向車のライトがさえぎられて安心です。季節の花が咲くような中央分離帯は素敵です。</p> <p>中央分離帯の木は排気ガス等をきれいにしたり、環境を良くしていくうえで大事だと思うし車の光がまぶしくなく良いと思う。</p>	<p>ご意見有り難うございます。 中央分離帯における植栽には、横断防止や眩光を防止する効果等がある一方で、見通しを一部阻害したり剪定作業時の交通渋滞を引き起こすなど負の側面もあります。眩光防止が必要な箇所では、代替機能を確保することも考慮し、地域住民のご意見を伺いながら対応を判断したいと考えています。</p>
<p>【方策3】 狭い歩道における道路植栽の間引き・撤去による幅員確保</p>	<p>撤去後の防護柵設置を検討すべき</p> <p>狭い歩道の箇所は比較的マウンドアップ構造が多いためバリアフリー（ハーフマウンド）も考慮し間引き・撤去をお願いしたい。</p> <p>高齢者の社会活動が頻繁になっているなら尚更、真夏の街路樹の日陰は必要。</p> <p>歩道の木を撤去すると、無いところと同じように車が乗り上げられたりして路上駐車の原因になると思う。</p> <p>地区でも頻繁に見られる路上駐車も、止められる場所はやはり木等の無い止めやすい場所になっている。</p> <p>狭い歩道にある大木は歩行者の障害物となることもあります。街路樹のない道路は歩道への乗り上げ駐車や駐輪がされてしまうことがある。</p> <p>ベビーカーを押したり自転車で走ると、狭い歩道より違法駐車や段差の方が邪魔になっている。</p>	<p>ご意見有り難うございます。 今回のパブリックコメントと同時に実施したアンケート結果によれば、安全に関する方策は肯定的な意見が多く、特に本方策については約8割の方が肯定的な意見を有しています。道路管理者としても、自転車利用者やウォーキング人口の増加に伴って歩道上の事故が増加している昨今の状況から、安全性向上に資するものは推進する必要があると考えています。実施にあたっては、その歩道構造や残す場合の樹木間隔等も含めて、地域住民のご意見を伺いながら判断したいと考えています。</p>

「道路にある植栽のあり方について」に関するご意見に対する四国地方整備局の考え方

分野	意見の要旨	意見に対する考え方
(前頁からつづく)	<p>歩道の横に何もなく車道がすぐあり、車はその横を走っていくところがありますが、恐怖感を覚えます。間に木が植えているところは、安心して歩くことができます。やはり歩道の木は残していくべきではないでしょうか。視認性も大事だと思いますが、安心して歩道を歩くことができ、環境も良くなるので少なくならないようにしてほしい。</p> <p>散歩する人が木々の間を通ったりして癒しの場となっている。</p> <p>間引きをする場合でも、適正な間隔で残し、きれいに剪定することによって真夏の日陰や美しい並木道を残していただきたい。</p> <p>日陰を作ってくれている樹木は、子供や老人の熱中症にならないようにする為に大切。</p> <p>子供たちが熱中症にならないように夏の日陰は大切。</p>	(前頁からつづく)
【方策4】 間隔が密な並木の間引き・撤去による視認性向上	<p>交差点部は視認性確保のため間引くのではなく、全面的に撤去すべき</p> <p>撤去後の防護柵設置を検討すべき</p> <p>樹種によって幹周りが異なるため間隔については一律の基準ではなく視認性を重視し決定していただきたい。</p> <p>交通の安全面では、必要最低限剪定も必要かもしれないが、その前に別の対策を検討するべきと思う。例えばカーブミラーの設置を検討してはどうか？</p> <p>地区でもできる範囲で見えにくい場所の木を剪定したりして対処している。剪定で対応して緑を減らさないでほしい。</p> <p>車が居眠りとかで突っ込んできたら、植栽があると有る程度防いでくれそうだが、無い場合だと防いでくれるものが無く大事故に繋がると思う。</p> <p>視認性が求められるのは交差点付近に限られると思いますので、間引きする場合は十分な検討をしていただきたい。視認性を低下させるものには、看板や電柱などもあり総合的な計画をお願いします。また、平坦で障害物のない交差点では、街路樹が車両の接近を認識するのに役立ち、交通事故防止につながるという記事を読んだことがある。</p>	<p>ご意見有り難うございます。 今回のパブリックコメントと同時に実施したアンケート結果によれば、安全に関する方策は肯定的な意見が多く、本方策についても約8割の方が肯定的な意見を有しています。道路管理者としても安全性向上に資するものは推進する必要があると考えており、実施にあたっては現地の状況を踏まえ、適切な樹木間隔となるよう、地域住民のご意見を伺いながら判断したいと考えています。</p>

「道路にある植栽のあり方について」に関するご意見に対する四国地方整備局の考え方

分野	意見の要旨	意見に対する考え方
<p>方策5:山間部の道路植栽を撤去</p>	<p>大規模な切土等の改変箇所は、景観修復のためにむしろ管理コストのいらない植栽は実施すべき</p> <p>低木については撤去しても良いと思う。高木については残した方がよいと思う。歩道に車両が乗り上げた場合も想定し防護柵の設置を考慮していただきたい。</p> <p>山部分の木は必要じゃないところもあると思いますが、逆に植えた方がいいと思うところもある。</p> <p>不要なところもあると思いますが、もっと植えて欲しいところもある。</p> <p>撤去を検討する場合には、道路だけを考えるのではなく周辺の景色や建物などを考慮して判断していただきたい。</p> <p>山間部はあまり分かりませんが、その場所・地域にあった木は植えていったらどうでしょうか。</p> <p>山間部を通る道沿いにある、民家等からの目隠しや騒音の抑制に効果があると思う。</p>	<p>ご意見有り難うございます。実施にあたっては現地の状況や街路樹の必要性も含めて、地域住民のご意見を伺いながら判断したいと考えています。</p>
<p>【その他】 全体的な意見等</p>	<p>撤去と書いているが、原則として伐採は避け、他の場所への移植を検討すべき</p> <p>大きな木がないと車やバイクが歩道に乗り上げてきそうに感じたり、大きな木があることによって日陰が出来るので、大きな木は必要。</p> <p>植栽・管理は、景観などを十分考慮し長期的な計画を立てて行うべきであり、つじつま合わせのものであってはならない。植栽計画は、地域の特性・気象条件等を多角的に判断できる専門的な技術者により作成されたもので、植栽する樹種も十分吟味されたものが要求される。</p> <p>予算が厳しい故にこのような発想がでてくるのはわかるが、環境の世紀と言われている時代に逆行した考え方ではないか。管理にコストがかかるので、一部を取り除くという考え方は必要かもしれませんが、植栽が不要な邪魔者扱いされているのは間違いです。</p> <p>強風の日道路植栽の枝が折れ、車にあたった。道路を管理する出張所に連絡したが、枝は腐食しておらず管理者には責任ないとの判断であった。管理責任を負わない道路の植栽は必要ない。(道路植栽が)一般市民の生命を守らないのであれば、税金を使って(維持管理)する必要がない。</p> <p>植栽については環境、景観、緑陰などの面から今後も整備していただきたい</p>	<p>ご意見有り難うございます。地域住民と合意の上で撤去となった場合は、まずは移植での対応を考えたいと思います。しかし、大きくなりすぎて移植が難しい木や、移植コストが高い木もあるため、各現場の状況に応じた判断により移植の可否を決定したいと考えています。</p> <p>ご意見有り難うございます。道路管理者としても定期的なパトロールにより、道路植栽の状況を確認し安全性確保に努めておりますが、突風や大雪等で折れるなど想定できない事象もあることは事実です。そのような状況の下、植栽の生長や社会環境の変化を踏まえながら、限りある予算の中で管理責任を果たしていくためにも、植栽のあり方を見直すことが必要と考えています。現在の植栽を残すところ、見直しを行うところのメリハリをつけ、また全てを画一的に実施するのではなく、現地の状況や特性を踏まえたうえで地域住民のご意見を伺いながら進めたいと考えております。</p>

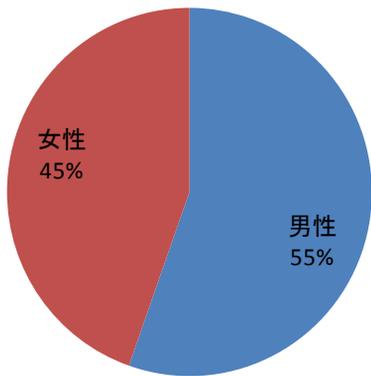
「道路にある植栽のあり方について」に関するご意見に対する四国地方整備局の考え方

分野	意見の要旨	意見に対する考え方
(前頁からつづく)	街路樹がある事によってCO2排出量が抑制される効果の方が長期的に見て重要に思える。	(前頁からつづく)
	秋の紅葉を楽しみにしていたアメリカ楓の並木道が、その前に無残な姿になっているのを見たのは残念でした。短絡的安易な対策ではなく、困難なことを調整し、努力することが求められています。	
	臭いを吸い取るような樹木や花等を植えてほしい。	
	撤去により不要になった管理費用は他の場所で美しい並木を護るために活用していただきたい。維持管理費が年々少なくなる中で、お金がないから剪定も掃除もできないので間引きや撤去をするというのではなく、どうしたら住民や観光客にも喜んでもらえる四国の景色を作り出すことができるのか、という視点でも取組をお願いします。	
	今まで、邪魔だと感じた木は下のほうになっている枝とか葉っぱなのでそれを切ってしまうば問題は無いんじゃないか。	
	木の下の方の枝や幹でみえづらい所があるのでその部分を切ってあげるだけでも十分なのではないか。	
	道路整備の整備効果としてCo2削減を見込んでいる場合には見直しをお願いします。	

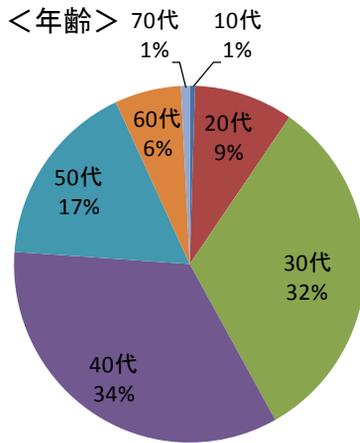
四国地方整備局では、パブリックコメントを実施した内容について、皆様がどのようなお考えをお持ちか調査するために、四国在住の方を対象としてアンケートを実施しました。その結果、全ての方策において約50～60%の方が肯定的に捉えており、特に安全に係わる分野においては、70%以上の方が肯定的な意見を有していることが判りました。

- アンケート実施日：平成23年2月24日（木）、25日（金）
- アンケート回答数：1000名（四国各県250名）
- 調査手法：楽天リサーチ登録者から無作為抽出による

<性別>



<年齢>



<国道を利用する際の交通手段>

